

誘蛾燈 総目次

Nos. 115 - 142 (1989 - 1995)

報 文

朝日延太郎：宮崎県北部から得た注目すべき蛾類 (V)	(116)	79
———：宮崎県北部から得た注目すべき蛾類 (VI)	(120)	63
尾藤成人：名古屋市都心部 (東区筒井) で採集した蛾類	(120)	75
———：名古屋市都心部 (東区筒井) で採集した蛾類の訂正	(121)	122
———：ウスシモフリトゲエダシャクを岐阜県で採集	(120)	82
千葉主喜：タツカモクメシャチホコ福島県でも採れる	(117)	116
———：カギバモドキ福島県甲子温泉で採集	(117)	120
———：フジキオビ阿武隈山地にも産す	(121)	122
———：ホソバネグロシャチホコ阿武隈山地にも産す	(122)	155
———：ウスゴマダラエダシャク阿武隈山地でも採れる	(122)	156
土井信夫：[佐藤力夫を見よ]	(141)	137
枝 恵太郎：シロスジキリガを乗鞍高原で採集	(141)	114
藤原麒一郎：岐阜県産ヒトリガ科とその考察 (I)	(141)	117
———・田部達也：ウグイスセダカヨトウの岐阜県の記録	(121)	132
船越進太郎：洞穴内に静止するウスクモチビアツバとウラモンチビアツバ	(139)	61
———：岐阜県各務原市の蛾	(140)	71
———・水野利彦：ヤヒコカラスヨトウの夏眠個体を岐阜県で採る	(120)	106
———・水谷健一・今村正人・大堀正貴：岐阜県東濃地方で得られた純白のシロ ミヤクツトガ	(137)	73
———・今村正人・大堀正貴・水谷健一：シデコブシにつく蛾	(133)	61
———・今村正人・大堀正貴・水谷健一：フチグロトゲエダシャクの成長曲線	(133)	67
———・今井滋行：スゲドクガ、シラユキコヤガの岐阜県における記録	(125)	99
———・今井滋行・仁科成香：前沢湿原 (岐阜県) の夏の蛾	(127)	11
橋本里志：長野県における低標高地でのカバシャクの記録	(141)	136
平野長男：横浜市で採集した小蛾類 3 種の記録	(126)	117
———：糸魚川市葛葉峠で採集した小蛾類	(128)	47
———：(国外文献紹介) モグリチビガ科の系統分類・東ヨーロッパとアジア (旧 ソ連邦) のモグリチビガ科	(138)	29
市川和夫：タニガワモクメキリガなど甲子温泉の春の蛾	(122)	142
飯島新真：[神保一義を見よ]	(116)	71
———：[神保一義を見よ]	(138)	11
———：[中島秀雄を見よ]	(120)	99
———：[中島秀雄を見よ]	(135)	5

池ノ上利幸：初冬のヤガ類の吸蜜活動に関する一観察例……………	(117)	105
———：早春のヤガ類の吸蜜活動に関する一観察例……………	(121)	129
———：花を訪れる蛾類 I — 関東南部・1～3月……………	(129)	69
———：花を訪れる蛾類 II — 関東南部・4～6月……………	(132)	29
———：花を訪れる蛾類 III — 関東南部・7～12月……………	(136)	33
———：イヌビワの実を訪れる蛾類……………	(140)	69
———：オオアヤシャクの夜間吸水……………	(140)	88
———：〔神保一義を見よ〕……………	(116)	71
———：〔神保一義を見よ〕……………	(135)	11
今村正人：〔船越進太郎を見よ〕……………	(133)	61
———：〔船越進太郎を見よ〕……………	(133)	67
———：〔船越進太郎を見よ〕……………	(137)	73
今井滋行：〔船越進太郎を見よ〕……………	(125)	99
———：〔船越進太郎を見よ〕……………	(127)	11
猪子龍夫：北海道南部のウスギンツトガとミヤマウスギンツトガの分布……………	(131)	17
———：北海道南部のヤガ科3種の記録……………	(132)	54
———：〔亀田 満を見よ〕……………	(129)	63
———：〔小木広行を見よ〕……………	(124)	66
———：亀田 満・小松利民：北海道南部のメイガ I……………	(129)	75
井上 寛：ウスアカムラサキマダラメイガとその近似種について……………	(118)	129
———：日本未記録のメイガ2種について……………	(128)	27
———：日本産ウスグロキモンノメイガについて……………	(132)	41
———：「キャタログ・アヴ・ファリーナ」って何だろう？……………	(132)	50
———：日本産 <i>Philereme</i> 属（シャクガ科ナミシャク亜科）について……………	(139)	39
石川和宏・神部昭夫：鯉沢町（山梨県）の <i>Catocala</i> 二題……………	(141)	114
伊藤之巳：山形県南陽市で採集した興味ある蛾数種……………	(116)	64
岩崎史郎：宮城県でガマキンウワバを追捕……………	(115)	18
———：宮城県におけるフチグロトゲエダシャクの新産地……………	(120)	98
———：フトジマナミシャクの異常型……………	(121)	114
———：古川市でヨコハマセニジモンアツバを採集……………	(126)	128
———：宮城県未記録の蛾（第4報）……………	(127)	17
———：フタトビスジナミシャクの斑紋異常……………	(138)	17
神保一義：ヨナグニサンの交尾……………	(139)	33
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(120)	71
———：中島秀雄・柳田慶浩・飯塚新真・池ノ上利幸：後立山連峰、白馬大池と 雪倉岳高山帯の蛾類……………	(116)	71
———：柳田慶浩・工藤広悦・池ノ上利幸：南八が岳の蛾類……………	(135)	11
———：柳田慶浩・間野隆裕・神保宇嗣：木曾御岳と濁河温泉付近の蛾類……………	(135)	15
———：中島秀雄・柳田慶浩・飯塚新真：富士山五合目の蛾……………	(138)	11
———：柳田慶浩・中島秀雄・岸田泰則：南アルプス・北岳と農鳥岳の蛾……………	(139)	34

神保一義・神保宇嗣：長野県北八ヶ岳駒池付近の蛾……………	(140)	95
———・柳田慶浩・中島秀雄：中央アルプス千畳敷の蛾類……………	(140)	99
神保宇嗣：〔神保一義を見よ〕……………	(135)	15
———：〔神保一義を見よ〕……………	(140)	95
亀田 満：北海道産シャチホコガ科について IV. 十勝南部・西部の記録……………	(115)	11
———：北海道でのシャクガ科 2 種の記録……………	(118)	134
———：カラフトアヤトガリバ北海道広尾町で採集……………	(118)	138
———：北海道十勝管内南部のシャクガ科 I. カバシャク亜科・ホシシャク亜科・ アオシャク亜科・ヒメシャク亜科・ナミシャク亜科……………	(119)	27
———：北海道十勝管内南部のシャクガ科 II. エダシャク亜科……………	(120)	83
———：マエチャオオヒロバキバガ北海道広尾町で採集……………	(120)	91
———：北海道十勝南部のコケガ亜科 2 種の記録……………	(120)	92
———：北海道南部のシャクガ科 3 種……………	(121)	113
———：ネズミホソバを北海道十勝南部で採集……………	(121)	114
———：北海道未記録の蛾 5 種……………	(122)	63
———：北海道南部のメイガ科 11 種……………	(124)	63
———：北海道十勝南部のメイガ科……………	(125)	101
———：北海道長万部町静狩湿原の蛾類 I……………	(126)	119
———：北海道未記録の小蛾類 2 種……………	(126)	124
———：北海道南部のヤガ科 10 種……………	(126)	125
———：北海道南部のナミシャク亜科 4 種……………	(141)	139
———：エゾアカオビマダラメイガを北海道更別村で採集……………	(141)	140
———：〔猪子龍夫を見よ〕……………	(129)	75
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(141)	137
———・猪子龍夫・小松利民：北海道南部のコブガ亜科について……………	(129)	63
———・川原 進：北海道産マルハキバガ科の記録……………	(121)	115
———・川原 進：北海道産マルハキバガ科の記録 III……………	(124)	48
神部昭夫：〔石川和宏を見よ〕……………	(141)	114
———：〔朝長政昭を見よ〕……………	(141)	143
———・朝長政昭：青木湖周辺におけるミヤマキシタバの採集例……………	(143)	149
葛西 充：青森県の蛾 (XIV)……………	(115)	35
———：青森県の蛾 (XV)……………	(116)	65
川辺 湛：Leiden 自然史博物館訪問記 — Dr. Alexey Diakonoff を偲んで —……………	(118)	151
———：J. F. Gates Clarke 博士を偲ぶ……………	(122)	143
———：新しい台湾情報……………	(123)	13
———：能登半島 (穴水町比良) の小蛾類……………	(132)	45
———・楠 祐一・川原 進：日本未記録のハマキガ科 3 種の報告……………	(132)	51
———：北海道小清水町でオオアカキリバを採る……………	(128)	26
———：北海道小清水町におけるミスジキリガの再発見……………	(128)	48
———：ナワメナミシャクの新産地……………	(129)	74

川辺 湛：ウスグロキモンノメイガの追加記録	(133)	80
川原 進：ダイセツヒメハマキの北海道低地の記録	(133)	80
———：北海道のシロオビヨトウは海岸に多い	(134)	91
———：北海道小清水町の蛾 I	(134)	93
———：北海道小清水町の蛾 II	(136)	49
———：北海道小清水町の蛾 III	(137)	61
———：ウスハイイロケンモンを北海道小清水町で採集	(134)	97
———：ウスムラサキノメイガを北海道小清水町で採集	(137)	67
———：カラフトアヤトガリバとタケウチトガリバ北海道網走管内の記録	(137)	68
———：ソウンクロオビナミシャクを藻琴山(北海道)で採集	(138)	10
———：〔亀田 満を見よ〕	(121)	115
———：〔亀田 満を見よ〕	(132)	51
———：〔佐藤力夫を見よ〕	(122)	176
———：〔川辺 湛を見よ〕	(124)	48
木俣 繁：山形県の蛾類文献目録(1)	(123)	25
木村正明：タイワンアヤシャクの幼虫と食草	(135)	18
木下總一郎：北海道産ヤガ2種の記録	(115)	29
———：ポーランドからの手紙 —その2—	(115)	37
———：注目すべき蛾の記録報告	(116)	58
———：エゾクシヒゲシャチホコを京都で採集	(116)	68
———：クモオビナミシャクとトビスジシャチホコの記録	(116)	80
———：キオビゴマダラエダシャクとアオバヤガの黒化型	(117)	114
———：東西珍品くらべ—独断と偏見にもとづいて、そのIV	(119)	17
———：東西珍品くらべ—独断と偏見にもとづいて、そのV(特集：昆虫針につ いて)	(122)	165
———：エチゴハガタヨトウの本州西限の記録および優勢種となりつつあるイン ドカギバ	(122)	150
———：大阪府下、淀川河川敷で得られた興味ある蛾	(123)	1
———：乗鞍岳・高山蛾の調査に関する報告	(125)	89
———：ミヤケカレハの美麗な個体	(125)	109
———：Hampson のキャタログ・アヴ・ファリーナ	(130)	95
———：クロモンドクガの特異な習性	(130)	98
———：(国外文献紹介) シロジマシャチホコのロシア極東亜種(Y. A. Tshistja- kov)	(133)	81
———：緒方正美・渡辺康之・谷田昌也：乗鞍岳高山帯での蛾類採集報告(1988 年度)	(115)	23
岸田泰則：山梨県明野村でマダラウスズミケンモンを採集	(126)	117
———：福島県いわき市でタカオキリガを採集	(128)	44
———：マエグロマイマイとサカグチマイマイの関係について	(141)	115
———：〔神保一義を見よ〕	(139)	34

小林秀紀：佐渡で8月に得た蛾……………	(120)	107
———：タカオキリガの2新産地……………	(125)	109
小木広行：マエジロヤガの食草と幼虫……………	(115)	33
———：北海道未記録のヤガ……………	(130)	102
———・猪子龍夫：北海道におけるムモンキイロアツバの採集と分布……………	(124)	66
———・奥 俊夫：日本産の <i>Epinotia solandriana</i> (Linnaeus) とその近似種 I. <i>Epinotia salicicolana</i> Kuznetsov について……………	(140)	89
小松利民：〔猪子龍夫を見よ〕……………	(129)	75
———：〔亀出 満を見よ〕……………	(129)	63
小山幸伯：トビモンオオエダシャクの早い記録……………	(127)	10
———：三重県南部でキイロトゲエダシャクを記録……………	(128)	25
———：三重県熊野市でクロモンオビリングを採集……………	(128)	26
———：キイロトゲエダシャクの追加記録……………	(132)	43
工藤広悦：穂高から八甲田—高山帯および亜高山帯の蛾—……………	(115)	19
———：2月に得た伊豆のナミスジフユナミシャク……………	(120)	92
———：熱海市錦ヶ浦(250m)のフタスジフユシャクを含むフユシャク類……………	(141)	145
———：〔神保一義を見よ〕……………	(135)	11
———：〔中村正直を見よ〕……………	(117)	109
倉田 稔：プライヤキリバ成虫の越夏・越冬生態について(日本アルプス地方の蛾 XII)……………	(120)	57
———：新潟県の蛾の資料……………	(128)	49
———：日本北アルプス地方の蛾類 XV……………	(139)	45
———・西澤繁幸：北アルプス北部地方の蛾 XII……………	(127)	7
楠 祐一：マダラクロオビナミシャクの分布状況について……………	(120)	69
———：大雪山系におけるコスギハマキの発見……………	(124)	75
———：高山帯—泥炭地の蛾類：低地の高山蛾(予報)—……………	(124)	77
———：ストローブマツ林で乱舞するヘリグロエダシャク……………	(134)	99
———：北海道中部のシナノオエダシャクの記録……………	(134)	100
———：フチグロトゲエダシャク北海道礼文島に産す—日本最北の産地……………	(136)	43
———：アルプスヤガの夕暮れの集団飛翔……………	(138)	25
———：〔川辺 湛を見よ〕……………	(132)	51
———・神保一義・柳田慶治・高橋隆一・保田信紀：北海道羊蹄山高山帯の蛾類……………	(120)	71
———・渡辺康之・保田信紀：日高山系幌尻岳周辺の蛾類……………	(116)	59
———・保田信紀：大雪山系石狩岳連峰の高山蛾の記録……………	(138)	19
———・保田信紀：十勝岳連峰の高山蛾……………	(128)	37
———・保田信紀：コウノエダシャクの雌について……………	(128)	57
問野隆裕：三重県南部の注目すべき蛾……………	(116)	55
———：愛知県のオオトウウスグロクチバの記録……………	(122)	149
———：愛知県で採集した注目すべき蛾……………	(123)	3
———：三重県紀伊長島町のクロメンガタスズメの記録……………	(123)	16

間野隆裕：三重県菰野町で得られた興味深い蛾	(124)	45
———：山口県周防大島の蛾	(124)	49
———：沿海州採集訪問記	(130)	103
———：東海地方で採集したヤマメイガ	(131)	9
———：東海地方とその周辺のツツミノガ	(139)	63
———：〔水野利彦を見よ〕	(122)	160
増井武彦：シロオビコバネナミシャクを四国愛媛からも発見	(138)	14
———：鳥取砂丘の蛾	(140)	83
増山克男：東京都日原でムラサキシタバを採集	(122)	175
———：東京都文京区関口でヒロバフユエダシャク交尾個体を採集	(124)	76
———：ホシスジシロエダシャク東京都日原の記録	(125)	90
———：東京都文京区関口で糖蜜採集で得た蛾	(127)	16
———：リュウキュウキノカワガを東京都文京区関口で採集	(135)	14
———：キマダラククロノメイガを東京都日原で再び採集	(137)	68
———：神奈川県三浦市でクロスジフユエダシャクを採集	(139)	60
又井庸生：〔田中政行を見よ〕	(128)	45
松井弘見：ワタナベカレハを三重県で採集	(131)	2
———：オオツバメエダシャクを三重県で採集	(131)	16
———：クロスズメの早い採集記録	(132)	53
松井直人：ミナミハグルマエダシャクの新産地	(125)	94
宮崎弘規：〔田中 蕃を見よ〕	(135)	19
水野利彦：〔船越進太郎を見よ〕	(120)	106
———：〔田中 蕃を見よ〕	(135)	19
———：間野隆裕：愛知県におけるサヌキキリガの記録	(122)	160
水谷健一：〔船越進太郎を見よ〕	(133)	61
———：〔船越進太郎を見よ〕	(133)	67
———：〔船越進太郎を見よ〕	(133)	73
森 展一：佐賀県の山地帯で採集したフユシャク類	(138)	7
中島秀雄：奥日光早春の蛾類	(116)	69
———：冬の台湾に蛾を採るの記 一ついに採った冬尺蛾	(116)	81
———：長野県茅野市麦草峠の蛾類	(120)	93
———：茨城県産の興味ある蛾 2 種の記録	(120)	105
———：関東地方及びその周辺におけるフユシャクガの採集記録とその知見 (III)	(122)	137
———：関東地方及びその周辺におけるフユシャクガの採集記録とその知見 (IV)	(124)	69
———：関東地方及びその周辺におけるフユシャクガの採集記録とその知見 (V)	(128)	31
———：関東地方及びその周辺におけるフユシャクガの採集記録とその知見 (VI)	(133)	69
———：関東地方及びその周辺におけるフユシャクガの採集記録とその知見 (VII)	(138)	27
———：フユシャクガ観察記	(124)	67
———：川辺 湛氏コレクション スミソニアン博物館へ	(142)	159
———：〔神保一義を見よ〕	(116)	71

中島秀雄：〔神保一義を見よ〕……………	(138)	11
———：〔神保一義を見よ〕……………	(139)	34
———：〔神保一義を見よ〕……………	(140)	99
———・飯塚新真：南アルプス南部の高山帯の蛾類……………	(120)	99
———・富沢 章・飯塚新真：白山高山帯の蛾類……………	(135)	5
中村正直：チビットガの幼生期について……………	(115)	7
———：シロテンコウモリの蛹……………	(117)	115
———：シャクドウクチバとムラサキヒメクチバの幼虫……………	(117)	117
———：日本未記録のニカメイガ属近似のツトガについて……………	(118)	139
———：コエビガラスズメとエゾコエビガラスズメの幼虫はどこが違うか……………	(118)	144
———：アツバ2種の幼虫についての覚え書……………	(118)	163
———：ツマグロシマメイガの生活史……………	(121)	119
———：ヤマトエダシャクの蛹と蛹化習性……………	(121)	123
———：ウスグロセニジモンアツバ幼虫についての覚え書……………	(121)	124
———：シロエグリツトガの幼虫……………	(121)	125
———：ホルトノキにつくキバガの生態……………	(122)	151
———：枯葉を食うノメイガ……………	(122)	161
———：マエモンシマメイガの幼生期についてのノート……………	(122)	161
———：アカヘリシマメイガの幼虫覚え書……………	(125)	91
———：シバミノガの特異な棲息地とそこでの生態……………	(126)	133
———：Agathia属の幼虫と蛹……………	(126)	133
———：ツマトビキエダシャクの幼生期……………	(131)	3
———：静岡県雄踏町南部の鱗翅類 追加2……………	(133)	75
———：ビロードスズメの食草の追加……………	(133)	78
———・工藤広悦：ハイイロボクトウの幼生期について……………	(117)	109
———・山本光人：ギンモンカレハの幼虫について……………	(119)	9
内藤恒夫：ヨコハマセニジモンアツバを新潟県黒埼町で採集……………	(131)	2
———：新潟県内ハマヤガの新産地……………	(132)	44
———：マガリスジコヤガを紫雲寺町次第浜（新潟県）で採集……………	(133)	68
———：カギモンハナオイアツバを新潟県柏崎市で採集……………	(134)	98
———：フジロアツバを新潟県上越市で採集……………	(135)	10
———：ババエダシャクを新潟県関川村大石ダムで採集……………	(139)	50
———：〔中野 潔を見よ〕……………	(130)	93
———：〔中野 潔を見よ〕……………	(131)	22
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(117)	120
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(126)	118
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(128)	44
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(131)	8
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(135)	20
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(136)	40

内藤恒夫：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(137)	72
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(139)	52
———：〔清野昭夫を見よ〕……………	(136)	40
———：〔清野昭夫を見よ〕……………	(136)	48
中野 潔：クロスジキリガを新潟県（中郷村）で採集……………	(120)	68
———：新潟県湯沢町で得たヤガ2種の記録……………	(120)	68
———：新潟県寺泊産フチグロトゲエダシャクの追加記録……………	(120)	70
———：新潟市佐潟で得た県未記録のヤガ2種……………	(120)	98
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(130)	93
———：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(131)	22
中塩一夫：南三陸で採集されたキハダカノコ……………	(124)	62
———：宮城県のスカシバガ3種について……………	(124)	62
———：宮城県のヤガ科5種の記録……………	(129)	61
———：宮城県におけるタカオキリガの記録……………	(138)	10
中臣謙太郎：自生のイイギリにツマアカシャチホコ，セグロシャチホコ発生……………	(131)	1
西原かよ子：モンキアカガネヨトウの越冬態について……………	(122)	156
———：愛知県でシロテンコウモリを採集……………	(128)	30
———：ヘリグロキエダシャク幼虫の冬季採集例……………	(128)	44
仁科成香：〔船越進太郎を見よ〕……………	(127)	11
西尾規孝：ベニモンマダラの生殖行動……………	(115)	21
———：シロテンクチバの幼虫……………	(115)	32
———：シロヒトリ雄の特異な行動……………	(117)	119
———：フユシャクの配偶行動……………	(117)	121
———：ソウंकロオビナミシャクの交尾観察……………	(129)	74
———：長野県地蔵峠周辺におけるコケエダシャクの食餌植物……………	(134)	92
———：ヤナギランの花に集まる蛾類……………	(138)	15
———：ニホンセセリモドキの夏季における観察例……………	(138)	18
———：イカリモンガの幼生期（追記）……………	(138)	18
———：セダカモクメの生態メモ……………	(139)	51
西澤繁幸：〔倉田 稔を見よ〕……………	(127)	7
緒方正美：カタカナ表記とローマ字表記姓名の順……………	(135)	21
———：〔木下總一郎を見よ〕……………	(115)	23
岡 耿一郎：庭先に発生したハマオモトヨトウ……………	(123)	36
———：山口県のツシマオオシロヒメシャクとワタナベカレハの追加記録……………	(125)	98
———：山口県内の <i>Trichosea</i> 属の分布……………	(140)	98
奥 俊夫：〔小木広行を見よ〕……………	(140)	89
大堀正貴：〔船越進太郎を見よ〕……………	(133)	61
———：〔船越進太郎を見よ〕……………	(133)	67
———：〔船越進太郎を見よ〕……………	(137)	73
大倉 慎：〔佐々木明夫を見よ〕……………	(140)	94

大倉 慎：〔田中政行を見よ〕……………	(128)	45
———：〔田中政行を見よ〕……………	(130)	99
大野正男：日本産主要動物の種別文献目録 (17a) オオシモフリスズメ (2) ……	(129)	83
大塚 勲：〔佐藤力夫を見よ〕……………	(128)	55
斉藤 修：スギキタヨトウの北海道内の新産地と生活環の補足……………	(136)	41
佐々木明夫：卵越冬でなかったツマモンキリガ……………	(115)	6
———：秋田県で得られた分布上注目すべきシャクガ (1) ……	(118)	145
———：ウスグロコケガ秋田県に産す……………	(118)	167
———：秋田県の蛾類相に関する文献目録 (追加：2) ……	(121)	133
———：ニセシロマダラコヤガ秋田県に産す……………	(132)	57
———：青森県下北で得た蛾数種……………	(134)	89
———：1994年に秋田県で採集された偶産蛾 2 種……………	(140)	93
———・大倉 慎：秋田県未記録のヤガ (3) ……	(140)	94
———：エゾソトジロアツバを新潟県秋山郷で採集……………	(142)	150
佐藤力夫：新潟県の蛾類に関する文献 (追加 XXVI) ……	(115)	34
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加 XXVII) ……	(119)	50
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加 XXVIII) ……	(123)	23
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加29) ……	(127)	2
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加30) ……	(131)	19
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加31) ……	(135)	27
———：新潟県の蛾類に関する文献 (追加32) ……	(139)	43
———：ウスミドリナミシャクを新潟市で採集……………	(116)	68
———：新潟県におけるフチグロトゲエダシャクの再発見……………	(117)	123
———：新潟県湯沢町で得たナミシャク 3 種の記録……………	(119)	8
———：大英自然史博物館を訪ねて……………	(119)	43
———：栗島でブナ発見される……………	(119)	51
———：武田 宏・島田久隆両氏採集の栗島 7 月の蛾……………	(121)	127
———：ヒメスジキノコヨトウの新産地——栃尾市平中野俣——…	(121)	131
———：タテスジナミシャクを新潟県妙高高原町で採集……………	(122)	150
———：大英自然史博物館所蔵の日本産ソトオビエダシャク……………	(123)	12
———：ミナミハグルマエダシャクの 1 型……………	(125)	94
———：クロシタシャチホコ幼虫をユキツバキで確認……………	(126)	118
———：追悼 馬場金太郎先生……………	(131)	23
———：クロスジキリガを新潟県上川村で採集……………	(133)	66
———：追悼 川辺 湛さん……………	(135)	28
———： <i>Eupithecia jezonica</i> Matsumura エゾチビナミシャクは独立種 ……	(138)	1
———・亀田 満・土井信夫：ムネシロテンカバナミシャクの新産地と雄の記載 (141) ……	(141)	137
———・川原 進：ミジンキヒメシャクの斑紋異常……………	(122)	176
———・内藤恒夫：新潟市でシマケンモンを採集……………	(117)	120
———・内藤恒夫：スカシカギバを新潟県黒埼町で採集……………	(126)	118

佐藤力夫・内藤恒夫：キマエキリガを新潟県黒埼町で採集……………	(128)	44
———・内藤恒夫：エゾキノコヨトウを新潟県黒埼町で採集……………	(131)	8
———・内藤恒夫：アミメキシタバを新潟県笹神村で採集……………	(135)	20
———・内藤恒夫：新潟県初記録のオオネグロシヤチホコ……………	(136)	40
———・内藤恒夫：新潟県におけるニセタマナヤガの採集記録……………	(137)	72
———・内藤恒夫：新潟県黒埼町産の蛾類の記録……………	(139)	52
———・中野 潔・内藤恒夫：トビスジシロナミシヤク本州亜種の再発見……………	(130)	93
———・中野 潔・内藤恒夫： <i>Epirrhoe hastulata</i> (Hübner) の和名……………	(131)	22
———・大塚 勲：オオツカハグルマエダシヤクの雄の発見……………	(128)	55
清野昭夫：ヒゴキンウワバの新産地(延岡市)……………	(119)	15
———：新潟県水原町でクマソオオヨトウを採集する……………	(126)	131
———：新潟県のツトガ亜科2種……………	(127)	22
———：対馬のコイチモジキノコヨトウの記録……………	(128)	48
———：新潟県のムラサキキンウワバについてのメモ……………	(131)	11
———：九州で採集した注目すべき蛾類……………	(131)	12
———：北陸地方におけるゴマケンモンの黒化について……………	(131)	21
———：新潟県のキンウワバ亜科2種……………	(132)	56
———：クロチャマダラキリガ新潟県本土側で採れる……………	(136)	56
———：ガマキンウワバを新潟県で4月に採る……………	(138)	6
———：ニシキシマメイガを福島県で採る……………	(140)	82
———：アトホシボシアツバの西表島の記録……………	(140)	104
———：キスジツマキリヨトウ新潟県本土側で採れる……………	(140)	104
———：クロスジマダラミズメイガ新潟県の新産地(六日町)……………	(140)	104
———：スギタニモンキリガ新潟県本土側で採れる……………	(142)	150
———・内藤恒夫：タケアツバを新潟県内で採集……………	(136)	40
———・内藤恒夫：クマモトナカジロシタバの新産地……………	(136)	48
———・中野 潔：新潟県の <i>Sugitania</i> について……………	(123)	8
柴多浩一：一部の翅を欠いたルリモンエダシヤクの雌……………	(136)	44
柴田泰利：川辺 湛著作目録……………	(142)	151
———：川辺 湛(1936-1993)により命名された蛾類の属群名と種群名……………	(142)	161
島田久隆：新潟県におけるミヤマキシタバの採集例……………	(127)	1
杉 繁郎：石垣島で採集された日本未記録種セプトコヤガ(新称)……………	(118)	135
———：マドガ科の亜科名の変更と修正……………	(118)	136
———：日本産のメイガ3種の属名の変更……………	(118)	137
———：ケショウヤナギについたヒナシヤチホコの幼虫……………	(118)	148
———：サツマニシキ食草の誤った初期の記録……………	(126)	129
———：(紹介)「宝塚の昆虫」蛾類の部発行される……………	(138)	26
———：北海道低地湿原のホクトギンウワバ……………	(141)	109
杉山徹朗：明星山でウスクモチビアツバを採集……………	(115)	18
———：戸隠高原でクシロツマジロケンモンを採集……………	(115)	17

杉山徹朗：三ツ峠でタニガワモクメキリガを採集……………	(115)	38
———：本州におけるチャバネフタオビアツバの2新産地……………	(115)	30
———：富士五合目でマツバラシラクモヨトウを採集……………	(115)	38
———：富士5合目で得たアズサキリガとキボシミスジトガリバ……………	(125)	95
———：南アルプス鷲住山で得た蛾……………	(125)	96
———：蓮華温泉（新潟県）で得たシャクガ4種について……………	(125)	97
———：ウスベニアオリンガを長野市で採集……………	(125)	97
鈴木亨治・鈴木智史：福島県におけるヒロバカレハの採集記録……………	(123)	18
———：鈴木智史：福島県未記録の蛾2種の採集記録……………	(129)	68
鈴木智史：ケンモンキシタバの異常型……………	(115)	30
———：栃木県においてエグリキリガを採集……………	(115)	31
———：ヨシノキシタバの黒化型を採集……………	(115)	31
———：フタスジヒトリの異常型を採集……………	(117)	118
———：カシワキリガの斑紋変異型を採集……………	(117)	124
———：福島県でシロヤエナミシャクを採集……………	(118)	167
———：ウスゴマダラエダシャクの異常型を採集……………	(119)	16
———：コウスチャヤガの異常型を採集……………	(119)	16
———：オカモトトゲエダシャクの雌を採集……………	(123)	35
———：栃木県におけるガマキンウワバの採集記録……………	(123)	37
———：福島県（阿武隈山系）にタカオキリガ産す……………	(124)	74
———：ゴマシオキシタバの異常型……………	(124)	74
———：阿武隈山系南部（茨城県側）にてヤマダカレハを採集……………	(126)	132
———：ルリモンエダシャクの後翅を欠く個体……………	(134)	98
———：阿武隈山系で得た福島県未記録種4種と浜通り地方の蛾相を考える……………	(127)	4
———：千葉県でコウチスズメを採集……………	(129)	82
———：〔鈴木亨治を見よ〕……………	(123)	18
———：〔鈴木亨治を見よ〕……………	(129)	68
田部達也：内陸部（岐阜県）におけるハマオモトヨトウの記録……………	(121)	132
———：岐阜県におけるムラサキミツボシキリガの記録……………	(121)	132
———：〔藤原麒麟一郎を見よ〕……………	(121)	132
田中 蕃・宮崎弘規・水野利彦：愛知県におけるスジモンフユシャクの記録……………	(135)	19
田中政行：佐渡島で10月に得られた蛾類……………	(132)	55
———：梅津一史・又井庸生・大倉 慎：秋田市天徳寺山のヤガ・追加報告I ……	(128)	45
———：梅津一史・大倉 慎：秋田県未記録のヤガ……………	(130)	99
谷田昌也：〔木下總一郎を見よ〕……………	(115)	23
高橋隆一：〔楠 祐一を見よ〕……………	(120)	71
富樫一次：キトガリキリガ幼虫の食草について……………	(115)	1
———：ウスジロキノメイガ <i>Ostrinia latipennis</i> (Warren) の食性……………	(133)	79
富沢 章：コウモリの捕食した蛾類2……………	(120)	65
———：〔中島秀雄を見よ〕……………	(135)	5

朝長政昭：〔神部昭夫を見よ〕……………	(142)	149
———・神部昭夫：観音経溪谷（山梨県）の注目すべき蛾……………	(141)	143
鳥倉英徳：ハマヤガの幼虫探訪記……………	(116)	53
———：ヒメシロテンアオヨトウの幼生期について……………	(118)	149
———：タテスジケンモンの幼生期について……………	(119)	1
鳥倉英徳：チャオビヨトウとフタテンヒメヨトウの幼生期について……………	(119)	3
———：エゾムラサキウワバの幼虫……………	(119)	5
———：コゴマヨトウの幼生期について……………	(119)	7
———：シロアシクロノメイガの幼虫……………	(119)	42
———：ヨモギキリガの生息場所……………	(123)	17
———：エゾミツボシキリガの幼生期……………	(123)	19
———：ビャクシンマダラメイガの幼生期……………	(123)	20
———：チャモンノメイガの幼生期……………	(123)	21
———：エダツトガ覚え書……………	(123)	22
———：ヒメキアシドクガの蛹……………	(135)	1
———：ショウブヨトウ類の採卵法——求む！タカネショウブヨトウの卵塊……………	(135)	2
———：キアシシロナミシャクの幼生期……………	(135)	3
———：ドロキリガの幼生期……………	(135)	4
———：マツキリガを十勝管内でも採集……………	(135)	4
———：リシリヒトリの幼虫……………	(136)	45
———：イブキスズメの幼虫……………	(136)	46
———：シロモンヤガ幼虫の緑色型……………	(136)	48
梅津一史：〔田中政行を見よ〕……………	(128)	45
———：〔田中政行を見よ〕……………	(130)	99
宇野弘之：キマダラクロノメイガを岡山県で再び採集……………	(136)	42
———：岡山県でマイコトラガとドロキリガを採集……………	(138)	6
———：岡山県におけるニシキシマメイガの分布記録……………	(139)	50
渡辺康之：〔木下總一郎を見よ〕……………	(115)	23
渡辺義汎：「宮崎県の鱗翅類」の追加種……………	(134)	101
山田米一：シンジュサンを新潟県粟ヶ岳で採集……………	(138)	26
山本光人：ルリモンエダシャクの後翅を欠く個体を採集……………	(133)	74
———：〔中村正直を見よ〕……………	(119)	9
山本義丸：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（V）……………	(115)	3
———：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（VI）……………	(119)	39
———：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（VII）……………	(123)	9
———：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（XIII）……………	(131)	13
———：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（IX）……………	(137)	69
———：大阪箕面公園で得られた注目すべき蛾類（X）……………	(141)	141
柳田恒一郎：長野県における蛾2種の採集記録……………	(123)	2
———：ホシスジシロエダシャクを東京都日原で採集……………	(124)	73

柳田慶浩：〔神保一義を見よ〕……………	(116)	71
———：〔神保一義を見よ〕……………	(135)	11
———：〔神保一義を見よ〕……………	(135)	19
———：〔神保一義を見よ〕……………	(138)	11
———：〔神保一義を見よ〕……………	(139)	34
———：〔神保一義を見よ〕……………	(140)	99
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(120)	71
保田信紀：〔楠 祐一を見よ〕……………	(116)	59
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(120)	71
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(128)	37
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(128)	57
———：〔楠 祐一を見よ〕……………	(138)	19
吉本 浩：ウグイスセダカヨトウの新産地……………	(119)	51

紹 介

鹿島の森の昆虫相（富樫一次）……………	(115)	10
山口県の昆虫（山口県立山口博物館）……………	(115)	38
白髪岳自然環境保全地域及び周辺地域の昆虫相（大塚 勲）……………	(115)	41
山形県の蛾類分布資料（Ⅲ）（木俣 繁）……………	(116)	99
月山及びその周辺の蛾（2）（木俣 繁）……………	(116)	99
長崎県本土の蛾類（宮田 彬）……………	(117)	108
なごやの昆虫（名古屋昆虫館）……………	(117)	113
木曽川トンボ天国の自然（岐阜県笠松町笠松公民館）……………	(117)	124
月山及びその周辺の蛾（3）（木俣 繁）……………	(118)	144
御所山系の昆虫類（菊地賢治・木俣 繁）……………	(118)	148
野鳥の森の大蛾類（高橋雅彌）……………	(120)	64
森吉の蝶・蛾類（高橋雅彌）……………	(120)	64
山形県の蛾類分布資料（Ⅳ）（木俣 繁）……………	(120)	106
水辺の蛾（荒川河川敷に生きる蛾）（工藤広悦）……………	(122)	162
北海道標茶町の蛾類（1）（飯島一雄）……………	(124)	76
富山市浜黒崎海岸自然調査報告書（富山市科学文化センター）……………	(124)	83
北海道の蛾類に関する文献5篇（楠 祐一ら）……………	(124)	83
愛知県のガ類（田中蕃・間野隆裕・田中多喜彦・有田 豊・宗川元章・山田真澄）…	(125)	108
荒川河川敷の蛾相の特性（工藤広悦）……………	(126)	128
山形県陸産淡水産動物目録（山形県動物環境調査会）……………	(129)	92
宮崎の蛾（永井 脛・朝日延太郎）……………	(130)	97
愛知県の昆虫（下）ガ類和名索引（間野隆裕）……………	(132)	57
樹と生きる虫たち —シャチホコ蛾の生態—（中臣謙太郎）……………	(133)	74
石川の自然 昆虫（石川むしの会・百万石蝶談会）……………	(134)	91

熊本県玉名市の蛾類 (大塚 勲)	(134)	101
泉村の自然 (五家荘の会「泉村の自然」編集委員会)	(134)	116
大分県の蛾類 (1) コウモリガ科からシャクガ科まで (宮田 彬)	(137)	67
富山市呉羽丘陵自然環境調査報告 (富山市科学文化センター)	(137)	71
三瓶山の昆虫相とその保全 (島根県昆虫研究会)	(137)	71
島根県瑞穂町の昆虫類 (島根県昆虫研究会)	(137)	71
秋田県の蛾 (II) (秋田県自然史研究会)	(137)	72
「大図鑑」以後の蛾の知見がすぐわかる本 —「Post-MJ」と「日本産蛾類の知見」		
(杉繁郎編, 佐々木 昇編)	(137)	75
山形県の蛾類分布資料 (VIII) (木俣 繁)	(137)	79
水生昆虫の観察 (谷 幸三)	(138)	13
「宝塚の昆虫」蛾類の部 (東 正雄)	(138)	26
ふるさとの虫に学ぶ (岐阜県高等学校教育研究会生物部会)	(140)	82
川辺 湛氏に献名された昆虫類	(142)	171
川辺 湛氏 (1936-1993) 略歴	(142)	171

雑

蛾界10大ニュース1988 (町島佳幸)	(115)	39
蛾界10大ニュース1989 (町島佳幸)	(119)	52
蛾界10大ニュース1990 (町島佳幸)	(123)	38
蛾界10大ニュース1991 (町島佳幸)	(126)	138
誘蛾会創立30周年記念 第15回みちのく会新潟県で開催される	(116)	100
訃報 馬場金太郎博士	(131)	26
訂正 (中島秀雄, 116:69-70)	(117)	116
訂正 (烏倉英徳, 118:149-150)	(119)	8
訂正 (亀田 満, 124:63-66)	(125)	108
訂正 (田中 蕃・宮崎弘規・水野利彦, 135:19-20) (水野利彦)	(136)	56
訂正 (清野昭夫・内藤恒夫, 136:48)	(138)	17
会員名簿 (1989年1月)	(115)	47

昆 虫 誌 か ら

(115) 1, (116) 102, (117) 125, (118) 168, (119) 55, (120) 109, (121) 134, (122) 115, (123) 40, (124) 84, (125) 110, (126) 140, (127) 22, (128) 58, (129) 91, (130) 116, (131) 27, (132) 58, (133) 84, (134) 114, (135) 30, (136) 57, (137) 76, (139) 66, (140) 105, (141) 146.

発行年月日一覧

発行年	号 数 (ページ) ・ 発行年月日			
1989	No. 115(1-52) 2月25日	No. 116(53-104) 7月15日	No. 117(105-128) 10月30日	No. 118(129-172) 12月31日
1990	No. 119(1-56) 2月25日	No. 120(57-112) 5月31日	No. 121(113-136) 10月31日	No. 122(137-180) 12月20日
1991	No. 123(1-44) 3月20日	No. 124(45-88) 6月30日	No. 125(89-112) 10月25日	No. 126(113-144) 12月31日
1992	No. 127(1-24) 4月30日	No. 128(25-60) 7月25日	No. 129(61-92) 11月20日	No. 130(93-120) 12月30日
1993	No. 131(1-28) 4月10日	No. 132(29-60) 7月10日	No. 133(61-88) 10月20日	No. 134(89-116) 12月30日
1994	No. 135(1-32) 4月10日	No. 136(33-60) 7月10日	No. 137(61-80) 11月25日	No. 138(1-32) 1995年3月31日
1995	No. 139(33-68) 4月30日	No. 140(69-108) 6月20日	No. 141(109-148) 11月20日	No. 142(149-172) 12月30日

凡

例

1. この総目次は「誘蛾燈」No. 115～No. 142に掲載されている事項を「報文」, 「紹介」, 「雑」の3項に分けて作製した.
2. 報文の配列は著者名のABCの順とし, 同一著者のものは発表順としたが, 同一表題の報文が何回かに分けて掲載された場合は, 最初に発表されたものに続けて載せた. 共著の場合は, 最初の著者の項に載せ, 2人目以後の著者の項は, []内にその旨を示した.
3. ()内に号数を示し, 次にページ数を記した.

誘蛾燈 総目次

誘蛾会: 950-21 新潟市新通西2-27-29
 Tel 025-262-5176 Fax 025-261-2936
 (振替) 00640-5-3414 (年会費5000円)
 1996年3月30日発行

GENERAL INDEX TO YUGATO

A Journal of Research on Moths
 Published by the Yugato Society, Niigata
 2-27-29, Shindori-nishi, Niigata, 950-21 JAPAN
 Issued March 30, 1996